

研究課題：成人期における先天性食道閉鎖術後の長期予後に関する研究

1. 研究の目的

先天性食道閉鎖症に対する根治手術である食道吻合術を受けられた患者様は当院でも数多くいらっしゃいます。短期的または中期的な術後成績については多く報告がありますが、特に成人期以降の長期的な術後成績および患者様の身体機能・生活状況については、報告は少ないです。本研究では当院で先天性食道閉鎖症の手術を受けて頂き、成人された患者様の現状を調査することで、食道閉鎖術後の長期的なフォローアップ方法や注意すべき合併症などの治療の最適化につなげることを目的としています。

2. 研究の方法

当院で先天性食道閉鎖症の手術を受け、2026年3月現在20歳以上で、当院での過去のカルテ検索が可能な患者様について、背景疾患や治療経過などの診療情報を用いて検討します。また、現在の身体機能または社会状況に関するアンケートを対象患者様に行い、結果を集積しまとめます。

3. 研究期間

2026年5月（倫理委員会で承認を得られた日）から2027年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、生まれたときの状態や体重、既往歴や併存疾患、排便に関する治療歴についての情報を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：外科 科長 川嶋 寛
研究分担者：外科 医員 小川祥子

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）